

## 1 スクール・ミッションについて

スクール・ミッションの策定等については、現在教育委員会で検討中である。

## 2 スクール・ポリシーについて

### (1) 策定状況、公表

- ・ 令和3年6月に各県立高等学校に「三つの方針の策定・公表について（通知）」により策定を指示
- ・ 令和4年3月1日までに教育委員会高等学校教育課に提出
- ・ 令和4年4月1日までに学校のウェブページで公表

### (2) 内容（学校に指示したもの）

- ・ 複数の課程・学科のある場合は、原則として課程・大学科ごとに策定する。
- ・ 課程・大学科ごとに、A4判1枚を標準とする。
- ・ 題名には、学校名を入れる。
- ・ 三つの方針は、「育成を目指す資質・能力に関する方針」「教育課程の編成及び実施に関する方針」「入学者の受入れに関する方針」の順で記載する。
- ・ 三つの方針それぞれのタイトルを各学校独自で定める場合は、それぞれのタイトルに続けて括弧書きで上記の方針名を記載する。
- ・ 三つの方針の記載は、文章でも、箇条書きでもよい。

## 3 高等学校の特色化・魅力化に向けた方策

### (1) 県立高等学校教育推進実施計画（第2期）

県教育委員会では、県立高等学校の10年後を見据えたグランドデザインとなる「県立高等学校教育推進基本計画（高等学校将来ビジョン）」（平成27年3月）に基づき、平成27年度から令和元年度までを期間とする「県立高等学校教育推進実施計画（第1期）」を策定した。

この第1期実施計画の5年間で、総合学科の設置等の学科改編、普通科コースの新設、昼間定時制高校の新設など、社会や生徒のニーズを踏まえた高等学校の配置を行った。また、国際理解教育やキャリア教育、職業教育、特別支援教育の一層の充実を図るとともに、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置拡充や指導者用タブレット端末の全校配備など、魅力ある高等学校の基盤づくりに取り組んだ。

第2期実施計画は、第1期実施計画の進捗状況を踏まえた上で、令和4年度から実施される高等学校学習指導要領の方向性を見据えながら令和2年2月に策定した。

章立ては以下のとおりである。

- 1 グローバル社会で活躍できる人材の育成
  - (1) 国際理解教育の推進
  - (2) 科学技術人材の育成とICT教育の推進
  - (3) 芸術、スポーツなどの分野における個性の伸長
- 2 キャリア教育と職業教育の一層の充実
  - (1) キャリア教育の一層の充実
  - (2) ものづくり愛知を支える職業教育の一層の充実
- 3 魅力ある高等学校教育の基盤づくり
  - (1) 教員の指導力向上と様々な学びの機会の充実
  - (2) ICT環境及び安全な施設・設備の充実
- 4 生徒のニーズを踏まえた様々なタイプの高等学校の配置
  - (1) 総合学科の新たな設置と普通科の活性化
  - (2) 多様な生徒のニーズに応える学校づくり
- 5 生徒が減少する地域における対応

この計画に基づき、全校を対象とした研究事業の実施（令和2年度～）、総合学科の新設（令和2年度）、全工業高校の「工科高校」への校名変更と学科改編（令和3年度）、コミュニティ・スクールの設置（令和3年度）などに取り組んでいる。

## (2) 県立高等学校再編将来構想

県教育委員会では、令和3年度に高等学校教育課内に高校改革室を設け、2030年代半ばまでを見据えた全県的な学校再編将来構想の策定に取り組んでいる。

差し迫る中学校卒業生数の著しい急減期を見据え、生徒の多様な学びのニーズに対応した、新たなタイプの学校を用意するなど、中学生が学びたいと思う学校づくりを進めるため、今年6月に県教育委員会と各地区の県立高等学校、中学校の代表校長で構成される「県立高等学校再編将来構想検討委員会」を設置し、各地域の状況を分析するとともに、今後の改善方策を検討し、県立高等学校の一層の魅力化・特色化と前向きな再編に関する取組の方向をとりまとめた。

現在、県立高等学校再編将来構想（案）をウェブページ上で公開し、県民意見提出制度（パブリック・コメント制度）に基づき、県民からの意見を募集している。

今後、パブリック・コメントによる意見を踏まえ、12月下旬に教育委員会会議で決定する予定である。